

1. 適正な心止め

栄養生長から順調な成熟生長へ移行するための大切な作業

☆ 目的 … 開花結実に必要な養分や水分の頂上への移行を防止して、葉の展開をはかり、内容成分を蓄積させ、成熟を促進する。

☆ 心止めの影響 … 心止めの程度、時期により葉の形態や内容成分の変化が起こってくる。

○ 葉の形態変化

- ・心止めによって特に葉長、葉幅が伸長するほか、葉の単位面積当たりの量も増加しながら成熟に向かう。
- ・心止め後上位葉が開帳し、樹勢が旺盛になり、その後成熟過程に移行することが大切。(ピアダル型の作柄)

○ 根群の発達

- ・各器官の乾物重は増加していくが中でも根の増加率は高い値を示し、心止めが深いほど増加量は大きい。
- ・新しく発生、伸長した根は土壌中の残存肥料を吸収し、上位葉の伸長や成熟経過に関与してくる。

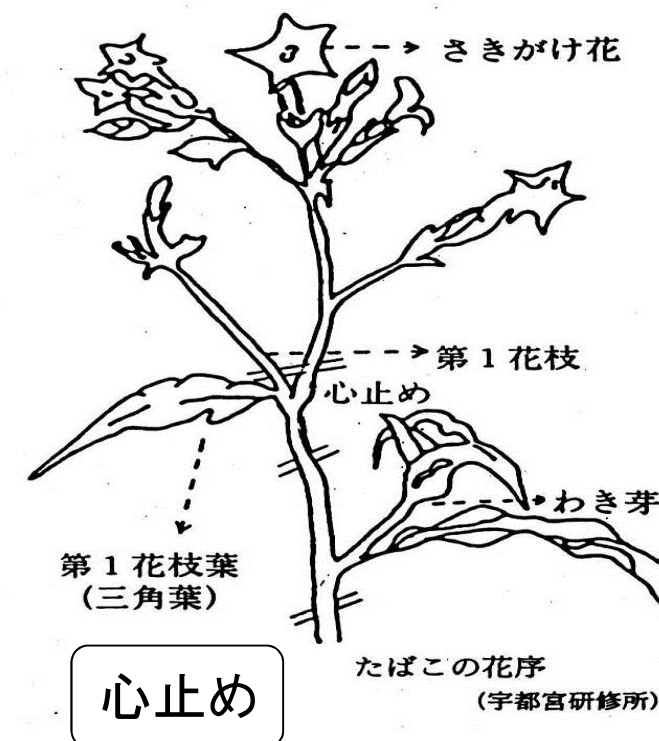
☆ 心止めの方法 … 標準作柄は、花軸が完全に伸びてから、開花1輪まで待つて第1花枝とも2~3枚切除する。

☆ 作業上の注意点 … 個々の畑の土性、耕土の深淺、施肥量、作柄の樹勢等を考慮して時期と深さを決める。

- ・畑の60%が標準状態になったとき行う。不揃いのときは2回に分けて行い成熟を揃える。
- ・大柄作は若干浅止めにし、栄養不良の作柄はやや深止めにする。
- ・曇雨天が続くときは仮止めを行い、天気回復を待つて止め直す。
- ・モザイク病や黄斑えそ病があるほ地は、最初に健全株の心止めを行い、その後に病害株を行う。

※用心のため極浅止めしたほ地で、その後心配がないと判断した時は、早めに切り直すか頂上葉を除去する。

※今年作は順調な生長が見られ、収穫見込み葉数も17~18枚確保されいるので、思い切った深さでよい。



2. 接触剤散布およびわき芽除去作業 … 「技術情報:5」「たばこ作りの基礎知識P32~33参照」

☆ 心止めするとわき芽の伸長が旺盛になる … 引き続き段取りよく適期に実施

☆ 今年作より【ブルーリボン乳剤】の使用は【厳禁】

3. 病虫害対策の徹底 … 「技術情報:4」「たばこ作りの基礎知識P42~45」参照

☆ アブラムシの飛来が多いようです … 黄斑えそ病対策として防除を心掛けてください。

☆ 糸状菌対策も万全に … 最悪を想定して、排水溝の管理等徹底してください。

4. 異物混入防止に心掛けましょう … 特に、マルチ片混入防止に向けた取り組みの徹底

☆ ほ地でのマルチ片回収と収穫、つり込み時、とり下ろし荷作り時の葉元確認



【目指す作柄】

収量・品質に最も影響する作業です。大切な作業が重複する時期ですので、共乾を活用し段取りよく適切に実行しましょう。